

(4) 教育普及事業

1. 事業の基本的な考え方

展示解説、普及活動等を行う教育普及事業は、調査・収集・整理・保存・展示・研究などの諸活動とともに、文学館活動の中で重要な位置を占める。社会教育・学校教育との連携を図りつつ、文学専門の博物館としての特性を生かし、年間を通しての文学講座や講演会、創作教室、文学的に価値ある映画の上映、朗読公演会など、文学について学び親しむ事業を幅広い世代に向けて行っている。

また、山梨ゆかりの作家や作品の資料を活用した学習プログラムや子ども向け事業の充実を図ることは、郷土への関心を高め、郷土を愛し、郷土に誇りをもてるような心情を育むという点からも重要であるとする。

2. 教育普及活動の内容

(1) 特設展・企画展関連教育普及事業

開館35周年記念企画展「金子兜太展 しかし日暮れを急がない」、特設展「生誕140年・歿後50年 中村星湖展」、特設展「文学はおいしい」、「新収蔵品展 直筆を楽しむ」に関連して、作家・研究者・関係者による講演会や関連講座などを行った。特設展・企画展のテーマを詳しく解説し、展示では扱えなかった視点から考察を加えるとともに、特設展・企画展そのものへの理解を深められるように実施した。外部講師及び職員による講演会・座談会などを通して文学を学ぶ機会を提供した。

- ① 外部講師及び職員による講演会・座談会を実施。
- ② 関連映画鑑賞会を実施。
- ③ 関連ワークショップを実施。
- ④ チャレンジクイズを作成。

楽しみながら展示の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供。

(2) 年間文学講座

年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすことを心がけている。令和6年度は、池田尚隆氏（山梨大学名誉教授）による講座1「古典文学講座（全8回）」と古川裕佳氏（都留文科大学教授）による講座2「近代文学講座（全8回）」、当館学芸員による講座3「作家と作品（全4回）」の3講座を実施した。

講座1「古典文学講座（全8回）」のテーマは「藤原道長と紫式部のライバルたち―大河ドラマの世界を同時代の史料と文学作品から読む―」、講座2「近代文学講座（全8回）」のテーマは「健全と不健全のあいだ―日本近代の犯罪小説を読む―」、講座3「作家と作品（全4回）」では、「資料からみえる中村星湖の人と作品」「作家が描いた甲州の“食”あれこれ」「金子兜太展のみどころ」「生誕120年 四尾連湖畔の詩人 野沢一」という内容で講座を行った。

(3) 名作映画鑑賞会

文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて考え、作品をより深く理解してもらうための企画である。平成2年度から毎年実施している。令和6年度は一般向け映画会「あん」「天地悠悠 兜太・俳句の一本道」「伊豆の踊子」の3回、子ども向け映画会「まく子」の1回を実施した。

(4) 朗読公演会

作品（詩・小説など）の魅力を朗読公演によって鑑賞する一般向けの企画を1回実施した。これは、開館の年から毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。令和6年度は、かわせみ座「Marionette Poems」を行った。

(5) 文学創作教室

俳句をはじめ短歌や詩、エッセイ・小説などの創作を通じて、文化活動を推進する。小・中・高校生をはじめ広く県民を対象に、文学創作講座を実施した。令和6年度は、三枝昂之館長と三枝浩樹氏による短歌教室（計3回）を開催した。また、川上健一氏を講師とする初心者小説創作教室を2回連続講座として、吉田朝麻氏を講師とする小さな本（ZINE）作り教室を1回開催した。

(6) 山梨の文学解説講座（出前講座）

この講座は、学芸課の職員が学校や市町村施設などに出向き、文学者や作品を紹介したり、文学に関する講座を行ったりするものである。令和6年度においても要請を受けた団体に対して可能な限り実施することができた。

(7) 教師のための学習会

県内の小・中・高校・特別支援学校の教職員を対象に春の特設展と秋の企画展について、文学館職員による説明と観覧を実施し、国語教育への活用を図ることができた。令和6年度は2回開催した。

(8) 児童生徒向け事業について

将来の山梨を担うことになる子どもたちに、山梨ゆかりの文学と文学者について学びきっかけを作る。学校教育との連携をより密にして、文学を通して豊かな心が育てる。

① 文学教室

年間を通じ、随時開催する。小学校、中学校、高等学校の要請に応じ、俳句や短歌の作り方や、山梨にゆかりのある作家の紹介などを行った。

② ワークショップ

主に子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じ、文学や文学者に興味をもってもらう機会とする。令和6年度は、7月に夏の特設展「文学はおいしい」に関連して「消しゴムはんこで“ヤマメ”を描こう!」、10月は企画展「金子兜太展 しかし日暮れを急がない」に関連して「はんこ彫り（篆刻）をしよう!」、1月・2月には「長田群青先生の俳句教室」、また2月には「声に乗せて味わう児童文学～原きよ朗読教室」を開催した。

③ 学習ガイド（ジュニアガイドブックと教育普及用資料集）

県出身及びゆかりの文学者や作品について、小中高生の理解を深めるために、教育普及資料集を作成している。令和6年度はデジタルアーカイブの紹介を入れるなど、随時見直しを行っている。また、常設展示室に展示されている山梨県出身およびゆかりの文学者について、わかりやすく解説したジュニアガイドブックを活用し、子どもたちが文学への興味や関心をもてるようにしている。

④ チャレンジ文学館

常設展を見に来た子どもたちが、ポイントをつかんで楽しく観覧できるように、常設展クイズ「わたしはだあれ」を実施し活用を図っている。また、芸術の森公園内に、俳句や詩、短歌や童謡、小説やエッセイの一節を書いた24本の柱を立て、「文学の柱追跡散歩」としてクイズを実施している。

⑤ チャレンジクイズ

楽しみながら企画展や特設展の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供している。

⑥（ジュニア）インターンシップ（就業体験）

子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来において自らの進路を自身で選択できる能力を育てていくことが課題となっている。文学館としても、中・高校のインターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組んでいる。令和6年度は高校生（山梨）2名、中学生（北・東・北東）8名を受け入れた。

⑦ 学習資料・アウトリーチセットの貸与

館作成資料の一部を学習のために貸与する。要請により、学校をはじめ、生涯学習事業等に対して貸与を行う。令和6年度は、「石川啄木セット」を1校、「飯田蛇笏・龍太のちまちま人形セット」を4校、「村岡花子と『赤毛のアン』の世界セット」を1校、「宮沢賢治～イーハトーブの世界・嘉内（かない）との友情物語～セット」を9校に、「芥川龍之介の夏休みセット」を1校に、そして「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂セット」を20校に貸し出した。

(9) やまなし文学賞

平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。やまなし文学賞実行委員会が主催、文学館で事務局を担っている。

令和3年度までは一般小説部門と研究・評論部門であったが、令和4年度に要項を改め、小説の募集を行う一般部門・青少年部門の2部門が設けられた。令和6年度は一般部門521編、青少年部門15編の応募があった。

教育普及事業の実施状況

分類	事業名	内容講師等	開催日	会場	参加人数	合計
年間文学講座	講座1 「藤原道長と紫式部のライバルたち ―大河ドラマの世界を同時代の史料と文学作品から読む―」 講師：池田 尚隆 (山梨大学名誉教授)	①藤原道長の父兼家とその子供たち	6月8日(土)	研修室	94人	590人
		②藤原道長の兄道隆とその息子たち	7月6日(土)		90人	
		③藤原道隆と娘定子	8月10日(土)		76人	
		④藤原道隆の息子伊周と貴族社会のあつれき	9月14日(土)		70人	
		⑤藤原道隆の死と中関白家の没落	10月12日(土)		70人	
		⑥藤原道隆死後の藤原定子と一条天皇	11月2日(土)		65人	
		⑦藤原定子と藤原道長の娘彰子	12月7日(土)		72人	
		⑧清少納言と紫式部	1月25日(土)		53人	
	講座2 「健全と不健全のあいだ―日本近代の犯罪小説を読む―」 講師：古川 裕佳 (都留文科大教授)	①志賀直哉「范の犯罪」	5月21日(火)	研修室	21人	169人
		②志賀直哉「濁つた頭」	6月18日(火)		18人	
		③菊池寛「ある抗議書」	7月23日(火)		21人	
		④芥川龍之介「二つの手紙」	8月20日(火)		23人	
		⑤芥川龍之介「或旧友へ送る手記」	9月3日(火)		25人	
		⑥谷崎潤一郎「途上」	10月8日(火)		16人	
		⑦谷崎潤一郎「白昼鬼語」	11月12日(火)		24人	
		⑧木々高太郎「文学少女」	12月17日(火)		21人	
	講座3 「作家と作品」 講師：当館学芸員	資料からみえる中村星湖の人と作品	6月2日(日)	研修室	24人	114人
		作家が描いた甲州の「食」あれこれ	8月12日(月)		48人	
		金子兜太展のみどころ	10月6日(日)		28人	
		生誕120年 四尾連湖畔の詩人 野沢一	11月10日(日)		14人	
特設展・企画展関連事業	「生誕140年 歿後50年中村星湖展」関連事業	講演会「中村星湖 自然主義文学の再評価の中で」 講師：中丸宣明（法政大学文学部日本文学科教授）	5月18日(土)	研修室	42人	512人
	「文学はおいしい」関連事業	ワークショップ「消しゴムはんこで“ヤマメ”を描こう！」 講師：アオヤギルミ (消しゴムはんこ作家)	7月28日(日)	研修室	36人	
	「金子兜太展 しかし日暮れを急がない」関連事業	講演会「兜太と龍太―その交友の歳月―」 講師：井上康明（俳人・「郭公」主宰）	9月16日(月・祝)	講堂	151人	
		講演会「金子兜太さんのこと」 講師：佐佐木幸綱 (歌人・国文学者・「心の花」主宰) 聞き手：三枝昂之	9月29日(日)		144人	
		座談会「兜太作品の原点を語る―第一句集『少年』・第二句集『金子兜太集』を中心に―」 講師：高野ムツオ（俳人・「小熊座」主宰） 高山れおな（俳人・「豈」「翻車魚」同人） 佐藤文香（俳人・「翻車魚」「鏡」同人）	10月26日(土)		120人	
		ワークショップ「はんこ彫り（篆刻）をしよう！」 講師：望月煌雅（甲州手彫印章伝統工芸士 一級印章彫刻技能士）	10月27日(日)	研修室	19人	

鑑名作 賞映 会画	一般向け	「あん」	8月4日(日)	講堂	212人	641人
		「天地悠々 兜太・俳句の一本道」	11月9日(土)		168人	
		「伊豆の踊子」	2月1日(土)		131人	
	子ども向け	「まく子」	5月6日(月・振休)		130人	
公朗 演会 読	一般向け	かわせみ座「Marionette Poems」	8月18日(日)	講堂	306人	306人
文学 創作 教室	小さな本(ZINE)作り教室	講師：吉田朝麻	7月20日(土)	研修室	33人	140人
	初心者短歌教室	講師：三枝浩樹	6月22日(土)		14人	
	小説創作教室	第1回 講師：川上健一	6月29日(土)		18人	
		第2回 講師：川上健一	9月28日(土)		19人	
	短歌講座	講師：三枝昂之	9月7日(土)		29人	
		講師：三枝浩樹	12月14日(土)		27人	
ワー ーク シ ョ ッ プ	俳句教室	第1回 講師：長田群青	1月26日(日)	研修室	30人	76人
		第2回 講師：長田群青	2月16日(日)		27人	
	朗読教室	「声に乗せて味わう児童文学～原きよ 朗読教室～」 講師：原きよ	2月2日(日)		19人	
出前 講座	山梨の文学解説講座	山梨近代人物館、峡南教育研究協議会、 ことぶき勸学院	3回		59人	1,048人
	小中高文学教室	県立中央高等学校 ほか	14回		989人	
文学 解説	展示解説 (一般向け)	元気夢クラブ(学童)、ガールスカウト 山梨県連盟	2回	展示室 展示室 展示室	120人	1,138人
	展示解説 (小中高大学生向け)	小学校5校、中学校14校、高校6校、 大学1校	26回		1,018人	
チャ レン ジ ク イ ズ	企画展チャレンジクイズ	小中高一般	9月14日～11月24日	展示室	309人	3,301人
	特設展 チャレンジクイズ	小中高一般	4月27日～6月23日、 7月13日～8月25日	展示室	1,770人	
	チャレンジ文学館 (わたしはだあれ)	小中高一般	通年	展示室	1,048人	
	文学の柱クイズ	小中高一般	通年	芸術の森公園	174人	
受実 入習	ジュニアインターンシップ	中高生(2人×2日、9人×1日)	7月24日～26日		13人	19人
	博物館実習	学芸員資格取得単位の実習(1人×6日)	7月17日～23日		6人	
そ の 他	移動文学館	小中高 38校	通年		11,528人	12,883人
	ZINEフェスティバル	各種ZINEの展示、無料配布会	7月21日	研修室	265人	
	博学連携広報活動(教育セ ンター初任研を含む)	校長会・教科部会・夏休みプロジェクト などでの普及事業説明	5月9日～10月11日		1,004人	
	教育センター共催研修	ZINE作り、閲覧室・展示室見学	7月24日	研修室	13人	
	教師のための学習会	中村星湖展、金子兜太展	5月23日、9月19日	展示室	15人	
	やまなし文学賞	運営委員会、表彰式	5月、1月、3月	研修室	58人	

(5) 刊行物の記録

① 山梨県立文学館館報 (A5判カラー8頁 観音折り)

119号 令和6年9月10日発行

【寄稿】 葬列、白いのは犬 梯久美子 (ノンフィクション作家)

120号 令和7年3月10日発行

【寄稿】 日本語の宇宙 富岡幸一郎 (文芸評論家)

② 山梨県立文学館年報 (令和5年度) 令和6年10月1日発行 A4判84頁

③ 資料と研究 第三十輯 令和7年3月31日発行 A5判87頁

講演会 兜太と龍太 ― その交友の歳月 ―

金子兜太書簡翻刻 村上一郎宛・飯田龍太宛

常なき歌 (四) ― 短歌における震災詠を考える

飯田蛇笏 木俣修宛書簡及び飯田龍太 木俣修宛書簡 翻刻

田中冬二「紀行」ノート翻刻

佐佐木茂索日記「Notebook」翻刻

中村星湖作成スクラップブック 付記

編集後記

井上 康明

中野 和子

三枝 昂之

高室 有子

伊藤 夏穂

保坂 雅子

込山たまき・小林幸代・高木美和・水上百合子

④ 「金子兜太展 しかし日暮れを急がない」図録 寄稿一覧

(令和6年9月14日発行 A4判72頁)

いま、なぜ金子兜太か

葬列、白いのは犬

兜太と「海程」

ダンディであることの意味

兜太と龍太

「金子兜太展」に想う

長崎の一夜

宇多喜代子

梯 久美子

安西 篤

三浦 雅士

長谷川 櫂

澤地 久枝

井上 康明

⑤ 中村星湖『少年行』 令和6年4月27日発行 A5判134頁

⑥ 『ジュニアガイドブック 山梨県立文学館 見る・感じる・文学との出会い』改訂版

令和7年3月31日発行 A5判16頁

(6) 閲覧室の運営

① 閲覧室の設置

山梨県立文学館設置及び管理条例と施行規則に基づき、県民・文学館来館者への資料・情報の提供及び調査・研究に対する助言を主な事業として、閲覧室の運営を行っている。

② 閲覧室の利用

ア 利用時間

平日 午前9時～午後7時
土・日・祝日 午前9時～午後6時

イ 利用手続

書庫内の資料を利用する場合は、「閲覧カード発行申込書」に必要事項を記入し、「閲覧カード」の交付を受ける。閲覧を希望する資料名を「文学資料等閲覧承認申請書」に記入し、受付に申し込む。

ウ 利用対象

文学資料などの調査・研究、読書を目的とした利用とする。

③ 閲覧室の業務

ア 所蔵資料の閲覧・画像情報提供

閲覧室では文学作品・文学研究書を中心とした図書、逐次刊行物、県内外文芸誌、新聞などを利用に供している(一部閲覧制限資料あり)。

また、画像情報システムにより、特殊資料の芥川龍之介資料、樋口一葉の「たけくらべ」再掲本原稿(複製)、中村星湖「少年行」原稿、山崎方代草稿など、実物の閲覧が困難な資料を、デジタル画像により閲覧に供している。一部画像は、令和6年10月1日から、当館ホームページ内「デジタルアーカイブ」でインターネット公開を開始した。

イ 文献検索システムによる資料情報の提供

所蔵資料(図書、逐次刊行物、特殊資料、マイクロ資料、視聴資料)の資料情報は、文献検索システムにより、閲覧室内のコンピュータ端末及び当館ホームページからの検索が可能である。

図書は通常の書誌情報に加え、内容細目もデータ化し、作品集に収録されている個々の作品名、作者名からの検索も可能としている。

逐次刊行物については、一部のものは論文名、作品名、執筆者名からの検索も可能である。

ウ 調査・相談業務(レファレンスサービス)

閲覧室に寄せられた調査・相談・照会などの依頼に対しては、文献に基づき、司書、学芸員などが対応している。質問は、電話、文書、FAX、電子メールでも受け付けている。

寄せられた質問を元に、令和3年4月からホームページで「レファレンス事例」を公開している。公開事例は国立国会図書館「レファレンス協同データベース」にも提供している。

エ 複写サービス

著作権法に基づき、一部の禁複写資料を除き、所蔵資料の複写サービスを行っている。(有料)

オ マイクロ資料閲覧室の利用

山梨日日新聞や明治期刊行物集成などのマイクロ資料の利用に供している。

カ ビデオブースの利用

文学館の紹介及び文学資料の情報を多角的に提供するため、閲覧室にビデオブースを併設し、文学関連の映像資料を提供している。

キ 朗読テープ・CDの利用

朗読テープ・CDは文学関係のものを中心に所蔵し、コーナーを設けて利用に供している。

ク 個人研究室・共同研究室の利用

閲覧室内に個人研究室2室、共同研究室2室が併設されており、研究・研修などの利用に供している。(有料)

ケ 資料紹介

所蔵する資料のほとんどが書庫内にあり来館者の目にふれることが少ないため、収蔵している図書・逐次刊行物の紹介を目的として、テーマを決めて閲覧室内で「資料紹介」を行っている。

令和6年度の実施内容は次ページのとおりのとおり。

コ 閲覧室トーク

職員が、閲覧室内で、提供しているサービスや、資料の検索方法、閲覧方法等を説明するとともに特色ある所蔵資料を紹介している。

令和6年度は次ページのとおりのとおり4回開催した。

閲覧室事業実施状況

◆ 閲覧室資料紹介

	タ イ ト ル	展 示 期 間	備 考
1	もっと知りたい中村星湖	令和6年4月26日(金)～6月23日(日)	特設展「中村星湖展」関連
2	たべもの百景	令和6年7月12日(金)～8月25日(日)	特設展「文学はおいしい」関連
3	俳句への誘い ^{いざな}	令和6年9月13日(金)～11月24日(日)	企画展「金子兜太展」関連
4	児童文学の翻訳者たち	令和7年1月2日(木)～3月23日(日)	

◆ 山梨ゆかりの文学者資料紹介

	タ イ ト ル	展 示 期 間	備 考
1	生誕150年 高浜虚子	令和6年6月5日(水)～7月10日(水)	
2	時代小説を読む	令和6年8月28日(水)～9月11日(水)	
3	誕生日にちなんだ資料紹介 山崎方代 生誕110年 (11月1日生まれ)	令和6年11月27日(水)～12月25日(水)	
4	野尻抱影 生誕140年	令和7年3月26日(水)～4月23日(水)	

◆ その他の資料紹介

	タ イ ト ル	展 示 期 間	備 考
1	七夕と星	令和6年6月26日(水)～7月10日(水)	季節のミニ展示
2	一葉忌	令和6年11月17日(日)～12月1日(日)	
3	クリスマスのおはなし	令和6年12月4日(水)～12月25日(水)	季節のミニ展示
4	企画展「金子兜太展」講演会講師・ 座談会出演者 著作紹介	令和6年9月16日(月・祝日)、 9月29日(日)、10月26日(土)	

◆ 閲覧室トーク

閲覧室の利用方法やサービス、特色ある所蔵資料などを30分程度で紹介した。

第1回	5月5日(日・祝)	3名
第2回	7月14日(日)	10名
第3回	8月11日(日・祝)	8名
第4回	11月20日(水・県民の日)	8名



閲覧室資料紹介「俳句への誘い」



閲覧室トーク(7月14日)

(7) デジタルアーカイブ開設

令和6年10月1日に、デジタルアーカイブを開設した。

デジタルアーカイブとは、博物館等で収蔵している資料等の画像をインターネット上で公開するシステムで、当館では、収蔵コレクションのうち、樋口一葉、芥川龍之介、太宰治の貴重な直筆原稿などを鮮明な画像にして、当館ホームページ上で740点の資料を公開した。

[資料の内容]

・ 樋口一葉資料

一葉の代表作に関わる「たけくらべ」未定稿「雛鳥」、「うもれ木」「にぎりえ」「ゆく雲」の草稿、自筆写本「伊勢物語」「竹取物語」のほか、書簡、詠草など。

・ 芥川龍之介資料

三茶書房店主・岩森亀一氏（故人）より寄贈、購入を受けたコレクションを中心に構成され、約5,000枚の原稿・草稿、学生時代の回覧雑誌のほか書画、書簡など。

・ 太宰治資料

第一創作集『晩年』に収録された「陰火」原稿、「斜陽」草稿、井伏鱒二、浅見淵に宛てた書簡など。

[デジタルアーカイブURL] <https://digital-archive.pref.yamanashi.jp>



山 梨 県 立 文 学 館

デジタルアーカイブ

D i g i t a l A r c h i v e

デジタルアーカイブを公開しました

山梨県立文学館で収蔵している
樋口一葉、芥川龍之介、太宰治
の直筆資料を公開しています。

樋口一葉

芥川龍之介

太宰治

出典: 近代日本人の肖像